

平成 30 年度第 1 回藤沢市図書館協議会 会議録

日 時 2018 年（平成 30 年）6 月 19 日（火）午後 3 時から 5 時 10 分まで

場 所 総合市民図書館 2 階 第 1 会議室

出席者 委員側 5 名

委員長 大村 勝敏

委 員 長谷川 豊祐，於保 ミチ子，石川 美保子，川田 進

図書館側 11 名

総合市民図書館	館長	高橋 眞智子
	専任主幹	饗庭 寛子
	主幹補佐	岡田 茂雄
	専任主幹補佐	瀬戸 あかね
	専任主幹補佐	田嶋 有紀子
	上級主査	吉澤 宏直
	主査	山田 さやか
	主任	岩城 朋典

NPO 法人市民の図書館・ふじさわ

事務局長 河村 融

辻堂市民図書館 責任者 京田 陽子

湘南大庭市民図書館 副責任者 上松 マリ

1. 開会

2. 議題
- (1) 前回会議録の確認について
  - (2) 藤沢市都心部再生・公共施設再整備特別委員会について
  - (3) 平成 30 年度図書館の運営方針及び運営目標について
  - (4) 利用者アンケート結果について
  - (5) 平成 30 年度雑誌スポンサー募集結果について
  - (6) 4 月から 5 月までの事業報告
  - (7) その他

委員長                    それでは、平成 30 年度第 1 回藤沢市図書館協議会を開催いたします。  
                              まず始めに本日の会議の成立について、事務局から報告をお願いいたします。

事務局                    事務局から会議成立のご報告をさせていただきます。  
                              本会議の成立につきましては、「藤沢市図書館に関する規則」第 20 条第 2 項で「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」と規定されております。  
                              本日は欠席者 2 名で、委員 5 人の出席となっておりますので本会議が成

立していることを、ご報告させていただきます。

また、本日の会議は公開としており、傍聴者は 5 名を予定しておりますが、現時点ではおりません。事務局からの報告は以上です。

委員長                   ありがとうございます。それでは、議題にそって進めてまいります。  
                              まず議題（1）前回会議録の確認について、事務局から説明をお願いします。

事務局                   前回会議録につきましては、6月15日（金）に委員のみなさま宛にご送付させていただきました。  
                              みなさまから特にご意見等がなければ、この場で会議録として確定させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員長                   それでは、みなさんにお諮りします。特にご意見等がなければ、この場で会議録を確定させていただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。  
                              特にご異議がないようなので前回会議録につきましては、これで確定いたします。  
                              それでは、次の議題に移ります。議題（2）藤沢市都心部再生・公共施設再整備特別委員会について事務局から説明をお願いします。

事務局                   6月1日（金）に開催いたしました藤沢市都心部再生・公共施設再整備別委員会についてご報告させていただきます。  
                              なお、ここでは藤沢市民会館・南市民図書館の再整備のうち、南市民図書館の再整備に関してご報告いたします。  
                              南市民図書館の再整備につきましては、開館から54年が経過し、施設の老朽化が懸念されていることから、今後の在り方について様々な視点で検討してきました。  
                              この間、市議会等からバリアフリーに関する課題や施設の利用にあたって改善を求める意見があり、また学識経験者・公募市民等で構成された藤沢市これからの図書館検討委員会が図書館サービスのあり方を検討した報告書には、耐震性に対する不安やバリアフリーの未対応など継続して利用することが困難であると指摘され、利便性が低下しない藤沢駅周辺に仮移転を考える必要があると提言されています。  
                              これらの状況を踏まえ、南市民図書館の継続使用を断念し、建て替えを視野に再整備の検討を進めることにいたしました。  
                              再整備期間中の機能確保につきましては、①機能を維持するためのスペースの確保が可能で蔵書資料の荷重に耐えられる施設②バリアフリーの条件が整えられていること③早期移設が可能で再整備期間中の利用継続が可能なことを条件に藤沢駅周辺の民間施設への暫定移設の検討を進めております。

以上が、藤沢市都心部再生・公共施設再整備特別委員会における南市民図書館の再整備についてのご報告となります。

続きまして、本委員会で行われた南市民図書館に関する主な質疑に対する答弁についてご報告いたします。

①質疑（答弁）

民間施設に入っている他市の状況として、大和市・相模原市・町田市・さいたま市などがあり、全国でも駅周辺施設との複合化の例が見られる。

暫定移設の時期はまだ検討段階であり、臨時休館は必要最小限にしたい。

駅前でのサービス拡大については他市を参考に利便性を踏まえて検討していく。

建て替えは文化ゾーン内での再整備を基本とし、今回の暫定施設が公共施設再整備プランに沿った再整備期間中での代替施設であると位置づけている。

②質疑（答弁）

市民会館が大規模改修となった場合には、単独での建て替えを含めて検討していく。

③質疑（答弁）

蔵書については、状況により他の市民図書館に置くことを考えており、南市民図書館のあり方は市民会館のあり方が出てから検討していく。

④質疑（答弁）

暫定移設先でのサービス低下とならないことを前提に検討している。

⑤質疑（答弁）

バリアフリーについて、南市民図書館が市民会館に比べ著しく遅れているため大規模改修ではなく、建て替えの方針とした。

⑥質疑（答弁）

次回の当該委員会において、暫定移設先について示せればと考えている。

⑦質疑（答弁）

様々な部署との庁内連携も含めて検討していく。

委員長                    ありがとうございました。事務局からの説明が終わりました。このことについて何かご意見・ご質問等はございますか。

委員                        暫定移設先でも、多くの方が集まればいいなと思います。

委員                        バリアフリー化も考慮したうえでの民間施設に暫定的、もしくは仮設という形で移設するのでしょうか。

事務局 南市民図書館は、スキップフロア構造（床面の一部に高さを変えた部分を持たせた構造）であるため段差が多く、部分的にスロープを設置しておりますが、場所によっては構造上の理由（面積の問題）により設置できない箇所もあります。またエレベーターの設置についても構造上の理由により設置できない状況です。

民間施設では、エレベーターや自動ドアなどがあることから、バリアフリーに対応をしているものと思います。

委員 54年前は主流、もしくは流行だった建物かも知れませんが、バリアフリーという視点が全くないのに驚きました。

事務局 当時の斬新な造りであり、スキップフロア構造自体が内部を広く見せる（空間の広がりを見せる）構造だと伺っています。

南市民図書館は入口から段差があり、また各書架に行くにも段差があるという状況で改善が困難ですが、暫定の移設先については、その改善を条件としております。また、建て替えを視野に入れた再整備の中では、どのようにしていくか検討を続けていきたいと思っております。

委員長 昔は中央館であり、とてもアピールの高いとてもモダンな建物でひとつの完結した形であるため、改築等が困難な建物になっているのですよね。

この他にございますでしょうか。特にないようなので、次の議題に移ります。議題（3）平成30年度図書館の運営方針及び運営目標について事務局から説明をお願いします。

事務局 =会議資料に基づき説明=

委員長 ありがとうございます。事務局からの説明が終わりました。このことについて何かご意見・ご質問等はございますか。

特にないようなので、次の議題に移ります。

議題（4）利用者アンケート結果についてですが事務局から説明をお願いします。

事務局 昨年の8月から9月にかけて行った図書館利用者アンケートですが、今回で最終の結果報告とさせていただきたいと思えます。

前回の4館別のアンケート結果、いわゆる各論を基に、総論として4市民図書館全体の結果をまとめ集計結果と分析・方向性をお示ししております。

お手元の資料は、本日委員皆さまのご意見をいただいたうえで、図書館利用者アンケートの最終報告とし、今後の図書館運営を行ううえで参考とするほか、ホームページ等で公開して参りたいと思えますのでよろしくお

願いいたします。

＝会議資料に基づき説明＝

総括になりますが、アンケート結果から本市図書館に対する満足度は高いが、図書館サービスの利用度、認知度を更に上げる必要があり、広報ふじさわや図書館ホームページ・ポスター・チラシなど様々な媒体を活用して、事業の更なる周知を図っていく必要があること、また、より魅力ある事業を検討し、集客力を高めていくことなどが課題として見えてきたと考えております。

委員長 事務局からの説明が終わりました。このことについて何かご意見・ご質問等はございますか。

委員 広報ふじさわをよく見ますが、図書館に関する記事を見かけた記憶がありません。公民館事業と同じような取り扱いはできないのでしょうか（カルチャー面への掲載）。そうすることにより、より多くの方が見ると思います。

事務局 図書館に関する記事については、広報ふじさわに毎回掲載されているわけではなく、特集号等の図書館特集で掲載されております。

事務局 各図書館の行事等もかなり広報に掲載しているのですが、催し面（広報の後ろの方）への掲載が多く、公民館（カルチャー面）のように図書館の掲載枠は特定されておられません。

いただきましたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきたいと思っております。

委員 広報に別チラシを挟み込むことはできないのですか。

事務局 例えば、図書館まつりを開催する時に湘南台地区のみですが、チラシを各戸回覧しています。

その際に用意するチラシは1,000枚ですが、財政状況が厳しいことから、このチラシを用意することも困難な状況です。

現状を考慮すると、事業を行うたびに周知用のチラシを用意することは難しいと思っております。

事務局 店舗やビルにチラシを貼っていただけるような協力体制が作ればいいのかと思います。今までとは違う角度から考えて周知の仕方を考えていきたいと思っております。

委員長 続いて、次の議題に移ります。





委員                   もともと図書館に興味がありましたので、この協議会の委員に応募いたしました。協議会の委員となり、いろいろなことを学ぶことができました。今後も図書館に興味を持っていきたいと思えます。2年間ありがとうございました。

委員                   委員になる前から、よく図書館を利用していました。委員になってからは、図書館を見る視点が変わり、より好意的に、そしてより身近な存在となりました。委員になって良かったです。ありがとうございました。

委員                   他市の協議会委員をやったことがあります。藤沢市は委員と事務局職員の距離が近く、非常に意見交換がしやすい環境でした。とても良かったです。今後も引き続き、この環境を保っていただければと思います。

委員                   社会教育委員会議から選出させていただいておりました。まずは2年間ありがとうございました。

                          子どもの頃から色んな図書館を利用していましたが、委員として図書館に携わることができて非常に良かったです。

委員長               2年間委員長を務めてまいりましたが、常に議事進行にご理解をいただきまして、感謝申し上げます。ありがとうございました。

                          それでは本日の会議ですがこれで終了いたします。長時間にわたり、そして2年間ありがとうございました。お疲れ様でした。

以 上